

- これらの能力を育成するための方策として、
- 1) 院内での小児救急患者の対応に関する学習会や演習の実施
 - 2) 「夜間子どもクリニック」での研修体制を実現（医師・看護師共に多くの経験を積むために）があげられる。

おわりに

地域の小児救急のニーズに応えるためには、物的資源と人的資源の充実が必須ではあるが、現状をよくふまえ理解した上で地域との連携を密にしていくこと、さらに一次および三次救急体制を含めて地域全体で小児救急体制を整備していく必要がある。三重病院としては地域の病院と役割分担しながら、夜間・時間外診療については「夜間子どもクリニッ

ク」と連携をとり「みえ子ども医療ダイヤル」を活用しながら今後も小児救急に取り組んでゆきたい。

〈謝辞〉

本報告においてデータをまとめるにあたり、ご協力いただいた小児救急を担当しているNHO三重病院看護師長ほか、病院スタッフの皆さんに深謝いたします。

[文献]

- 1) 佐々木菜名代. 子どもの医療の現状と看護に期待すること, 小児看護 2005; 28: 676-81.
- 2) 上村克徳ほか. 危急的状況における小児への対応 - 初期評価とトリアージ, 小児看護 2006; 29: 820-28.
- 3) 伊予田邦昭. 小児救急電話相談事業, 看護 2006; 58: 84-8.

今月の 用語

隣に伝えたい 新たな言葉と概念

【トリアージ】 英 Triage

関連語: reverse triage リバーストリアージ
triage nurse トリアジナース

〈解説〉 語源はフランス語の *trier* (トリエ), コーヒー豆や羊毛など, 良い品を選別する意味. つまり対象をその質によって分類し選別することである。

医療では, 疾病や傷害の種類や程度に応じて分類し, 治療の優先順位を割り付ける行為を指す(治療優先順位選別). 近年では災害医療の現場で汎用される。

大規模な事故や災害, たとえば, バス事故や列車事故, ビル火災, 洪水, 津波, 地震, 感染症のアウトブレーカなどでは一度に多数の患者や受傷者がいる. そういう状況にあっては限られた医療資源でできるだけ多数の患者を救出するためにはやむを得ず搬送や治療に優先順位を付けなければならない. ここでは, 平時の先着順とか平等主義ではなく, 救命のための厳然たる選別が行われる。

トリアージには大きく2つの場面がある. 第一は災害現場であり, 第二は医療機関である. いずれにおいても, 被災者は受傷の程度に応じて, 識別札(トリアージ・タッグ)の色で, 4段階ないし5段階に分類される. 赤(待てない), 黄(待機: 経過観察), 緑(軽症: 歩ける, 簡単な処置), 5段階では白(軽症: 処置不要), 黒(救命不能, 死亡).

広域災害時に軽症者を含めて大勢の被災者が医療機関に押し掛けて機能が麻痺したという事例はごく最近の地震でも報道された. また, 最近のニュースでは, 横浜市で日常の救急医療現場で効率的な救急車の配車を目指してトリアージを導入しようとしたが, 選別法に市民からの苦情も多いという. 医療におけるトリアージの概念をどこまで拡大すべきか, また, 本概念が理解され, 受け入れられ, 浸透するには, 選別基準の合理性の確保, いったん決めたら徹底すること, 現場スタッフの教育, 加えて医療関係者, 行政関係者, 一般市民に対する日頃からの啓蒙活動が必要である。

関連語:(1)リバーストリアージ: 軽症の兵士を優先的に治療して戦線に復帰させることをいう. あるいは, 医療スタッフや消防士などが被災・受傷した場合, 軽傷スタッフから優先的に治療して現場に復帰させる選別をいう。

(2)トリアジナース: 救急医療現場で患者や家族からの電話等の相談に応じて, 当事者が緊急にとるべき対応と選択に関して素早い決定ができるよう助言・援助する専門看護師のこと。
(湯浅龍彦)

関連分野: 災害医療, 救急医療